

中村じゅんや 議員だより



連絡先（事務所）：〒410-1107 静岡県裾野市御宿1500 全矢崎労働組合裾野支部内

<TEL> 055-997-1336

<E-Mail> junya_shizunaka@office.tnc.ne.jp

<FAX> 055-997-5745

<URL> http://www.junya-susono.club/

財政立て直し改革予算が、新市長体制のもとスタート。

1月に行われた市長選挙。主張の違いは令和4年以降の予算配分の優先順位だったように思います。市民の選択は「停滞から成長へ」というスローガンを掲げた村田悠新市長でした。2月に入り早速令和4年度予算審査の議会が行われましたが、詳細に積み上げられた予算編成に対して「成長」戦略を盛り込むには、あまりにも時間がない状態ではありました。ただ、現時点での歳入に合わせた歳出改革という視点でいくと、必要最低限として積み上げてきた予算であったこともあり、新市長は「上程した予算はしっかりと執行する予算である。公約で掲げた独自の施策については、当初予算を執行しながら、検討していく」と説明。今回の予算審査は、必要最低限の予算でも工夫や知恵を出し、市民の生活の質が向上するための努力や姿勢について特に注視した内容となりました。

成長戦略とその財源については、これからの新市長の手腕にかかってくると言えるでしょう。

2月定例会の議案&補正予算

●人件費関連の削減

・市長の給与

財政再建の取り組みの一環として、特別職の内、市長給与の減額提案を可決

市長月額給与(820千円×12月=9,840千円)の3割(2,952千円)を、期末手当(3,266千円)から差し引くことになりました。

・職員の通勤手当

通勤手当の支給方法を見直した条例を可決

県や近隣市町の支給状況を確認し、距離の大別化や価格そのものを見直しを実施しました。

支給対象者は、650人中460人。見直した結果、5,600円/年→3,000円/月

●市の組織体制

市長の機構改革で、産業・観光・PR・建設への強化が重点取り組みであることが窺い知れます。

・企画部 → **市長戦略部**（財政課、情報発信課集約 渉外課設置：企業誘致等）

・産業部 → **産業観光課**

・建設部 →（ウーブンシティ周辺整備課設置）

また、地域振興を向上させるべく窓口一元化

・市民部 →（コミュニティ課設置：支所集約）

※組織数の変化は、部局±0、課▲3、室+3。

・副市長の二人体制は維持。

一人は、及川涼介氏を選任（総務省経験者）

あと一人は、これから選任予定とのこと。

●主な事業

富岡第二小学校→
放課後児童室整備
4,698千円



市内循環バス運行補助→
9,969千円

←新規小規模保育所補助
48,412千円



岩波駅周辺整備→
817,000千円
（企業版ふるさと納税）

←平松踏切拡幅工事
29,232千円



←裾野駅西駐輪場整備
15,000千円
（自転車&自動二輪の駐輪場を各整備）

一般質問

■岩波駅周辺にサテライトオフィスを設置しよう！

10億円を超える企業からのふるさと納税で進む岩波駅周辺整備。当然ウーブンシティを視野に入れた交流人口の増加、市内産業振興への期待が根底にある。興味を持っているのは市外の企業ばかりではなく、地元住民だって知りたい。

ワークショップの様なものに参加しなければ知れない仕組みではなく、そこに行けば様子も分かり説明も受けられる、企業の相談も受け付けるといったサテライトオフィスを設置し、みんなでまちづくりを進める仕組みを構築すべきである。

A. 事業の進捗管理や企業・産業連携、民間企業の実証実験の調整などに対応する体制を整備する。岩波への拠点整備についても必要に応じ、寄付を活用した設置含めて検討したい。

■遅々として進まない中小企業振興策に注力せよ！

未だ続く大手企業依存により、市内の競争力強化による産業振興策が進んでいない。コロナ禍対策補助のポイント還元や商品券発行も、継続的な経済効果に寄与していない。行政のみで考えず、中小企業等振興推進会議の体制を市外関係者を入れるなど強化し、施策も含み協議するべきである。

A. 条例を制定したものの停滞していた推進会議を新年度早々に立ち上げ、振興策の協議や合意形成の場としたい。確かに当市に対する外からの視点は重要、体制についても再協議を指示する。

■職員人件費削減の見直しは、評価の給与と反映で実現させ、市民貢献度を下げない取り組みを！

職員給与平均額が県内1位とはいえ、安易に基本給を削減しては、向上心を阻害するばかりか、市民サービスへの貢献心を失わせ兼ねない。管理職手当の額や画一的な昇給レベルの規則を、前年の管理職より手当が少なく、また頑張りが顕著でない者は翌年の昇給額が低くなるよう改正し、平均額そのものを調整する制度を導入すべきである。職員も市民も今の生活の質を下げず、人件費の圧縮を図るよう工夫すべきである。

A. 職員のやる気や生活の質に急激な影響を与える基本給削減は避けたい。評価の給与への反映方法や規則見直し提案も含め、様々な助言を参考に人件費総額の削減に取り組みたい。

■例えポストがなくとも、昇格すると役が外れない降格のない公務員制度の改革を国に訴えよう！

国家公務員には、役を終えた管理職の任を解き、手当を外す「降格の特例制度」が設けられた。地方公務員への適用を訴えるべきである。

A. 組織のスリム化や、さまざまな社会変化に対応できる管理職を柔軟に配置できるよう、国等に要望していきたい。

一般質問は
YouTubeで
配信中。



各種活動のご紹介

●ご参加ありがとうございました
大河ドラマの撮影のため、急遽呼びかけたゴミ拾い。300kgも回収できました！感謝・感激！



●地域活動をつなげよう

嶽南ふるさとさんの千福城址整備活動に中学有志が参画して下さいました。コロナ禍でもコミュニティーを繋いでいく方法の一つですね！



●コロナ禍に負けないイベント！

富岡竹あかりの夕べを開催。地域を盛り上げる工夫です。皆さんもぜひ一緒に作品作りに挑戦してみませんか？

●奉仕の心

献血者が減少し、血液が不足しています。身近にできる奉仕活動に、ぜひご参画下さい。



Facebookやホームページでも、日頃の中村じゅんやの活動を配信しております。

↓↓↓↓↓



ご意見、ご要望のほか、後援会入退会など、お気軽にご連絡くださいませ。